

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会
黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり実施計画

平成 28 年度の取り組みについて

(1) 農産物等研究専門部会	3
(2) 地域活性化検討専門部会	11
(3) 里地里山保全利活用専門部会.....	26

(1) 農産物等研究専門部会

農産物等研究専門部会の取り組み事項 平成 28 度版

農-1 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）

農-2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りっきり栽培」の実施

農-3 殺虫剤農薬抵抗性に関する講習会

農-4 農産加工品に関する検討

農-5 黒川野菜・果物等の P R（農家による黒川野菜の直売の実施）

農-1 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）

計 画

概要・目的		概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者を対象に、明治大学黒川農場の見学会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取り組み、研究内容等について紹介を行う。 ・大学と地元農業者の相互の取り組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。
		目的 【地域交流】 明治大学黒川農場での取り組み等を紹介してもらう見学会を実施し、地元農業者と大学関係者の交流を深める。 【地域連携の強化】 黒川産の農産物の販売促進のため、地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。
実施体制、対象者等		対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課
実施内容	実施予定日	平成 29 年 2 月頃
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・P R	—
	内容	①明治大学黒川農場の施設紹介 ・黒川農場の施設を紹介。 ②研究活動内容や研究成果の紹介 ・黒川農場で行っている研究や取り組みの紹介 ③明治大学教員と地元農業者による意見交換 ・今後の、農産物等の生産に関する連携等について
	予算等	—
その他		・今後も大学と農家の意見交換の場を検討してく。

農-2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りつきり栽培」の実施

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ホーラー(植穴あけ機)を使用し、3月定植、翌春に一作で採りきる「採りつきり栽培」の見本畑を作り、栽培講習会を行うなどし、新たな特産物・収穫体験としての可能性を検討する。 <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。 【地域連携の強化】地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	<p>平成 28 年 11 月頃 栽培講習会</p> <p>平成 29 年 2 月頃 見本畑設置、栽培実習</p>
	実施場所	黒川上地区
	周知・PR	黒川生産支部回覧板
	内容	<p>①栽培講習会の実施</p> <p>②見本畑設置、栽培実習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区に見本畑を設置し、栽培を実習できる機会を設ける。 ・アスパラガスの苗を地元農業者に配布する。
	予算等	—
その他		—

実施・評価

実施概	実施日時	平成 28 年 12 月 27 日、平成 29 年 1 月 26 日、3 月 15 日
	実施場所	黒川上地区ほ場
	参加者数	
実施状況 (写真等)	<p>平成 28 年 12 月 27 日 明大生田校舎ほ場見学(黒川農業者 4 人参加) アスパラの生育状況を確認した。 明大農学部 元木悟准教授対応</p>	
	<p>平成 29 年 1 月 26 日 栽培講習会 (黒川農業者 19 人、関係者 12 人参加) 講師 元木悟(明大農学部准教授)、大学院学生 川崎智弘(種苗会社担当)、 岩淵裕樹(川崎市農業技術支援センター)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
	<p>平成 29 年 3 月 15 日 展示ほ場設置、定植講習会、 苗配布(農業者 17 人、2,270 株)</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区に展示ほ場が設置されたため、実際に栽培方法が確認できるのは良かった。 ・苗を配布してくれるので、取り組みやすかった。 ・採りつきり栽培だけでなく、キャベツの品種比較試験等他の野菜の話が聞いて良かった。 ・アスパラガスを産地化するのであれば、今回限りでなく、数年は継続して苗の供給をしてもらいたい。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<p>来年 3 月～4 月の収穫に向けて技術指導を行う。また、展示ほ場を中心に黒川の農業者向け技術講習会や視察などを開催する。</p>	
その他	<p>黒川生産支部との共同開催</p>	

農-3 殺虫剤農薬抵抗性に関する講習会

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <p>・難防除害虫アザミウマについて、黒川地域での薬剤抵抗性について大学の調査結果をもとに講習会を行い、環境にやさしい農業を目指す。</p> <p>目的</p> <p>【地域交流】 明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【環境保全】 農薬を効果的に使う方法を学ぶことで、環境にやさしい農業の実現を目指す。</p>
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	平成 29 年 2 月頃
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①講習会の開催
	予算等	—
その他		・今後も内容を検討して、講習会を実施する。

農-4 農産加工品に関する検討

計 画

概要・目的		概要	・地元農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う
		目的	【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。 【黒川産商品開発】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の農産加工品の開発を検討する。
実施体制、対象者等		対象：地元農業者、明治大学 協力：神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所、セレサモス事務局：川崎市農地課	
実施内容	実施予定日	意見交換会：平成29年3月頃	
	実施場所	明治大学黒川農場	
	周知・PR	-	
	内容	<p>農産物の加工品について全国的に優れた技術を持っている明治大学黒川農場の客員教授である小清水先生と地元農業者との意見交換会を開催することで、今後の農産物等研究専門部会において何ができるのか検討していく。</p> <p>今年度は柿生地区のふるさとの生活技術指導士との意見交換会を開催する。</p> <p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見 <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の農産物加工品の開発の可能性ややってみたいメニューについて意見交換 <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方等に関する意見交換 	
	予算等	-	
その他		-	

農-5 黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）

計 画

概要・目的		概要 ・ 明治大学黒川農場の収穫祭で、大学と地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。																
		目的 【黒川農産物のPR】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の新鮮な農産物をPRし、販売促進につなげる。 【地域交流】農家と直接お話しをしながら、野菜を買いだいたいという意見が前回の収穫祭ででていたため、地元農業者が直接販売する機会を創ることで、市民と地元農業者との交流を図る。																
実施体制、対象者等		主催：地元農業者 協力：明治大学 対象：明治大学黒川農場収穫祭の来場者 事務局：川崎市農地課																
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月 12 日（土）収穫祭																
	実施場所	明治大学黒川農場																
	周知・PR	・ 市政だより、HP等 ・ 明治大学収穫祭告知チラシ、HP等 ・ 協議会によるチャレンジウィークチラシ、HP等																
	内容	収穫祭にて「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売 ■ 農産物の種類（案） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・ 大根</td> <td>・ 里芋</td> </tr> <tr> <td>・ かぶ</td> <td>・ 親芋</td> </tr> <tr> <td>・ 人参</td> <td>・ ブロッコリー</td> </tr> <tr> <td>・ きゅうり</td> <td>・ 次郎柿</td> </tr> <tr> <td>・ たまねぎ</td> <td>・ 本ゆず</td> </tr> <tr> <td>・ 小松菜</td> <td>・ キウイフルーツ</td> </tr> <tr> <td>・ チンゲン菜</td> <td>・ たまご</td> </tr> <tr> <td>・ 白菜のぬき菜</td> <td></td> </tr> </table> （平成 27 年度：14 品目 660 点）	・ 大根	・ 里芋	・ かぶ	・ 親芋	・ 人参	・ ブロッコリー	・ きゅうり	・ 次郎柿	・ たまねぎ	・ 本ゆず	・ 小松菜	・ キウイフルーツ	・ チンゲン菜	・ たまご	・ 白菜のぬき菜	
	・ 大根	・ 里芋																
・ かぶ	・ 親芋																	
・ 人参	・ ブロッコリー																	
・ きゅうり	・ 次郎柿																	
・ たまねぎ	・ 本ゆず																	
・ 小松菜	・ キウイフルーツ																	
・ チンゲン菜	・ たまご																	
・ 白菜のぬき菜																		
予算等	－																	
その他		－																

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	8 人(地元農業者 5 人、都市農業振興センター職員 3 人)
実施状況 (写真等)	<p>平成 28 年 11 月 12 日開催された明治大学黒川農場収穫祭にて、「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売した。</p> <p>収穫祭来場者 1,761 人 (前年度 1,122 人) 前年比 157%</p>	
	 <p>■農産物の種類（平成 28 年度：13 品目 300 点以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイコン ・キュウリ ・ピーマン ・万願寺トウガラシ ・甘長トウガラシ ・コマツナ ・ハクサイのぬき菜 ・サトイモ ・カキ ・本ユズ ・キウイフルーツ ・たまご ・お米 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・9 月の長雨の影響で収穫物が少なく、荷を集めるのに苦労した。 ・部会員を中心とした農業者の協力により、何とか直売を行うことが出来た ・販売用テント横まで軽トラックを入れることができ、荷の管理がしやすかった。 ・収穫祭来場者向けに場内放送を利用した広報をしてほしい。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回で 2 回目の参加。今後も継続して参加することで、黒川産の新鮮な農産物を P R し、販売促進につなげる。 	
その他		

(2) 地域活性化検討専門部会

地域活性化検討専門部会の取り組み事項 平成 28 年度版

地-1 サインの検討・試行

地-2 散策マップの検討・試行

地-3 里山景観づくりの検討・試行

地-4 HP 等による取り組み紹介とイベント P R

地-5 グリーンツーリズム

-1 トマト&ブルーベリー収穫体験の実施

-2 ジャガイモの収穫体験（案）

地-6 炭焼き体験・シンポジウム

地-7 <地域農産物等の活用>菜の花プロジェクト

地-8 里山アート制作と展示 【サトヤマアートサンポ 2016】

地-1 サインの検討・試行、地-2 散策マップの検討・試行

計 画

概要・目的	<p>概要</p> <p>今年度もサトヤマアートサンポと連携して、アートを案内する暫定マップ・サインを作成し、散策誘導を試行的に実施</p> <p><サイン></p> <ul style="list-style-type: none"> 散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行の取り組み <p><マップ></p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内の散策マップや散策ルート等のあり方を検討 <p>目的</p> <p>【散策環境の向上】来訪者が快適に散策できたり、目的地へ円滑にたどりつける環境を確保すること</p> <p>【マナーアップ】ゴミのポイ捨てや農地の無断立ち入りなど注意喚起をして、来訪者のマナー向上を促すこと</p> <p>【地場材の活用】黒川地域の竹や樹木などの利活用を促す。</p> <p>【情報発信の推進】農と環境のまちづくりのPRや各種取り組み（里山アート等）の認知促進</p>
	<p>実施体制、対象者等</p> <p>主 催：和光大学（制 作：和光大学）</p> <p>協 力：地元農業者、小田急電鉄、セレスモス、黒川営農団地管理組合（農業用倉庫）</p> <p>事務局：麻生区役所</p> <p>対象者：黒川地域の来訪者</p>
実施内容	<p>実施予定日</p> <p>平成 28 年 11 月～12 月頃 ※収穫祭（11/12）前後</p>
	<p>実施場所</p> <p>黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅～セレスモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場></p>
	<p>周知・PR</p> <p>散策マップの配布、ポスターの掲示</p>
	<p>内容</p> <p><サイン></p> <ol style="list-style-type: none"> ①総合案内サイン：黒川駅から明治大学黒川農場までの全体マップ ②位置サイン：里山アートの紹介サイン ③誘導サイン：散策ルートの誘導のためのサイン <p><マップ></p> <p>今年度は、まだ、黒川地域での推奨する散策ルート等の検討を行っていないため、設置する期間を限定し、里山アートの設置場所の紹介をするための暫定版の散策マップを配布する。</p>
<p>予算等</p> <p>サイン制作費、散策マップ制作費、印刷費</p>	
<p>その他</p> <p>ルートについては、地元の意見や情報を反映したものとする。</p>	

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) ～11 月 20 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 〈黒川駅～セレサモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場〉
	参加者数	アート鑑賞者：約 1 0 0 0 名 (参考：収穫祭来場来場者 1761 名、パンフレット配布数等より推測)
実施状況 (写真等)	①総合案内 (黒川駅前)	②里山アート作品の紹介
		
	③誘導サイン (黒川駅前～明治大学黒川農場周辺)	
		
	④散策ルートマップ (2000 部)	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	・ルートマップについては、アンケートで全員がわかりやすいと回答	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	・昨年の意見を踏まえ、文字を大きくし、文字と背景との色の差をつけるなどの工夫をした。今年度は特に見えにくい等の意見はでなかった。	
その他	-	

地-3 里山景観づくりの検討・試行

計 画


概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地の「里山の景観づくり」の検討を行う。 <p>目的</p> <p>【散策環境の向上】来訪者が黒川の自然を楽しみながら散策できる景観を形成する。</p> <p>【認知促進】里山環境に適した景観を創出することで、黒川の新たな魅力としてPRし、都市の中で貴重な環境が残っている現状を多くの人に伝える。</p>
実施体制、対象者等		<p>協 力：地元農業者等</p> <p>対象者：黒川地域の来訪者</p>
実施内容	実施予定日	<p>種まき：平成28年10月頃（春に開花の場合）</p> <p>開 花：平成29年3月～4月頃</p>
	実施場所	黒川海道特別緑地保全地区、ほか黒川地域
	周知・PR	—
	内容	<p>検討事項</p> <p>① 種まき 里山の風景と調和した花の景観を形成するため、散策路沿いおよび賛同を得られた農地沿いに菜の花や蓮華等の種まきを行う。 →種の種類、敷地所有者の賛同、ルート等</p> <p>② 開花期 景観づくりの目的や取り組みを紹介するサインを設置する。 →広報方法、管理方法</p> <p>③ その他、景観づくりについて検討</p>
	予算等	—
その他		—

地-4 HP 等による取り組み紹介とイベントPR

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実 ・ホームページの更新充実、収穫祭時での紹介パネルの作成、各種取り組みでのアンケートを実施 <p>目的</p> <p>【取り組みのPR・情報発信】 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>【担い手づくり】 「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みやイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行い、取り組みに賛同し、活動に協力してくれる担い手づくりにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		<p>担当：麻生区役所</p> <p>対象者：ホームページ閲覧者、収穫祭来場者</p>
実施内容	実施予定日	<p>収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成28年11月12日（土）</p> <p>ホームページ：随時更新</p>
	実施場所	<p>パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場</p>
	周知・PR	<p>麻生区ホームページ（インターネット）</p>
	内容	<p>①取り組みの紹介とPR 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>②イベントの参加募集と活動報告 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連したイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行う。</p> <p>③イベントアンケート調査 来場者に向け、農産物等研究専門部会と環境を活かしたまちづくりに関するアンケート調査を行う</p>
	予算等	<p>アンケート印刷費、パネル印刷費、アンケート回答者へのノベルティ代</p>
その他		-

実施・評価

実施概要	実施日時	収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成 28 年 11 月 12 日（土） ホームページ：随時更新
	実施場所	パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場
	参加者数	収穫祭アンケート 149 件（昨年 100 件）
実施状況 (写真等)	<p>・収穫祭におけるパネル展示、アンケートを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">       </div> <p>・黒川の風景を用いたノベルティグッズを作成し、アンケート謝礼として配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>・麻生区ホームページにおいて「農と環境を活かしたまちづくり」として情報を発信した。</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・竹あんどんについては、約 7 割がやってみたい、興味があると回答 ・美術展示については、約 8 割が鑑賞してみたい、興味があると回答、取り組みについてのニーズが確認できた。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は時間を決めずにアンケートを集めたが、目標の回答数を集めることができた。 ・収穫祭の来場人数が約 1700 人のため、もう少し多く集めてもよいのではないかと。 	
その他	-	





地-5-1 <グリーンツーリズム>

トマト&ブルーベリー収穫体験の実施

計 画

概要・目的		概要	・20～30年代モニターを募集し、トマトとブルーベリーの収穫体験と、とりたてを食べる食農体験イベントを実施
		目的	【農体験のPR】黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。 【参加者以外へのPR】報道取材やSNSによる発信により、参加者以外へも幅広い麻生区の農業についての周知を図る。 【ニーズ調査】若い世代の農業についてのニーズや活性化のための意見をまとめ、今後の取り組みの参考にする。
実施体制、対象者等		主催：麻生区役所 協力：明治大学黒川農場、セレスモス、川崎市農業振興センター農地課 対象者：川崎市在住・在学の20～30代の男女（モニターとして、当日及び後日送付のアンケートにご回答いただける方）	
実施内容	実施予定日	平成28年7月30日（土） 9：50～13：00 黒川駅南口集合	
	実施場所	・ブルーベリー収穫体験：川崎市援農ボランティア実習用ブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・アンケート調査&意見交換等：明治大学黒川農場	
	周知・PR	・麻生区ホームページ内での告知 ・タウンニュース掲載 ・チラシの配布（区役所・小田急各駅、食品衛生協会による各店舗配布、地域情報誌、新聞、SNSによる発信、など）	
	内容	①収穫体験 ・ブルーベリーの収穫 ・トマト・ナス・ピーマンの収穫 ② 明治大学黒川農場の見学 ③ アンケート調査と意見交換 ・農に対するニーズなどの意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。	
	予算等	参加費無料、運営費（袋、パック等）	
その他		-	

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 28 年 7 月 30 日 (土) 10:00~13:00
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・アンケート調査&意見交換等：明治大学黒川農場
	参加者数	20名（申込：33名、欠席連絡有11名、連絡なし2名）
実施状況 (写真等)	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;">9:50 黒川駅南口</div> <div style="font-size: 2em; color: orange; margin: 0 auto 10px auto;">▼</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;">10:20 ブルーベリー畑</div> <div style="font-size: 2em; color: orange; margin: 0 auto 10px auto;">▼</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;"> 11:00 明治大学黒川農場到着 <ul style="list-style-type: none"> ・農場見学 ・トマトの収穫体験 ・アンケートの記入 ・意見交換 </div> <div style="font-size: 2em; color: orange; margin: 0 auto 10px auto;">▼</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;">13:00 セレサモスにて解散</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・食べながら好みの味のものが収穫できてよかった。 ・久しぶりに土に触れることができ、いい機会だった。 ・黒川の農業を知る機会になった。今後、地産地消を意識していきたい。 ・農場見学が興味深く、楽しかった。 ・参加者同士の自己紹介や交流の時間があったらよかった。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・採りたての野菜はやはり味が違うので、経験してもらえればすぐではなくても口コミ等でその魅力が伝わるのでは。 	
その他	-	

地-5-2 <グリーンツーリズム> ジャガイモの収穫体験（案）

計 画（案）

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民を対象に、ジャガイモの植え付けから収穫・調理までを通して体験し、農への興味・関心を深める。 <p>目的</p> <p>【農体験のPR】黒川産の野菜や果物のPR。収穫だけでなく、植え付けの段階から調理までの活動することで、参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：麻生区役所 協力：黒川地域、セレサモス 対象者：麻生区民（主なターゲット層未定）</p>
実施内容	実施予定日（例）	<p>植 付：平成 29 年 3 月 芽かき：平成 29 年 4 月後半 草取り：平成 29 年 5 月 収穫・調理：平成 29 年 6～7 月</p>
	実施場所	黒川地域の農地（未定）
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区ホームページ内での告知 ・チラシの配布
	内容	<p>①植付体験 ・じゃがいもの育て方の講習会 ・植付</p> <p>②わき芽かき体験 ・芽かき作業の説明と実施 ・追肥の実施</p> <p>③草取り作業 ・畑の囲い込み（支柱たて）、雑草等の草取り</p> <p>④ 収穫体験 ・じゃがいもの収穫体験 ・調理・試食</p>
	予算等	参加費：500 円程度
その他		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付け場所、講師の確保 ・類似の既存イベントとの差別化、目的・目指す効果の明確化

地-6 炭焼き体験・シンポジウム

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <p>・炭の今後の活用の可能性等をテーマとしたシンポジウムを、農家・大学・NPO 等と連携によって実施。</p> <p>目的</p> <p>【竹林管理と活用】家庭菜園などにも土壌改良材として利用できる竹炭にする事例を実際に見聞きし、竹林を活用しながら適正な管理を実践する仕組みづくりについて、学ぶ機会とする。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：明治大学、麻生区役所、NPO 法人 K-BETS NPO 法人竹もりの里</p> <p>協力：地元農業者、</p> <p>対象：地元農業者、地元住民等</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 9 月 14 日（水） 13：00～16：00（10：00～見学可）
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	チラシ、ポスター等
	内容	<p>①竹炭製造のデモンストレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭化炉を使って、実際に竹炭をつくる <p>②シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「竹炭の農業利用」明治大学特任教授藤原氏 ・事例発表①麻生区における里山管理の現状と課題 ・事例発表②千葉県における竹炭づくりの取り組み ・事例発表③竹炭の土壌改良効果 ・事例発表④家庭で竹炭を使った有機野菜・花づくり
	予算等	チラシ・パンフレット印刷費
その他		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹炭製造デモンストレーション用の古竹・青竹（合計 1 トン程度）の調達。 ・当日運営人員

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 28 年 9 月 14 日 (水) 13 : 00 ~ 16 : 00 (10 : 00 ~ 見学可)
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	シンポジウム参加者 : 100名 当日スタッフ : 約30名
実施状況 (写真等)	<p>10 : 00 竹炭製造開始</p> <p>↓</p> <p>13 : 00 デモンストレーション開始</p> <p>↓</p> <p>13 : 30</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○基調講演「竹炭の農業利用」 明治大学特任教授 藤原 俊六郎 ○事例発表 <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市の緑地保全施策と里山の再生に向けて 川崎市麻生区役所道路公園センター所長 鈴木 直仁 ・千葉県長生郡市における竹林整備活動と大型炭化炉による竹炭づくり NPO 法人竹もりの里 理事長 鹿嶋 與一 ・竹炭による土壌改良実験結果 NPO 法人 K-BETS 理事 篠崎 正利 ・家庭で竹炭を使った有機野菜栽培と花作り NPO 法人 K-BETS 理事 福島 巖・恵美子 <p>16 : 00</p> <ul style="list-style-type: none"> ○閉会・竹炭配布 <p>↓</p> <p>13 : 00 閉会・竹炭の配布</p>	   
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化部会員、地元の協力により、当日スタッフの確保ができ、スムーズに運営できた。 ・来場者名簿は 100 名だが、会場の大きさから 150 名は入っていた。 ・竹炭製造のデモンストレーションや藤原先生の基調講演含め、プログラムは好評だった。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・面白い取り組みだった。 ・配布された竹炭を実際に使っている。 ・マスコミにも多く取り上げられ、多くの集客ができた。 	
その他	-	

地-7 <地域農産物等の活用>菜の花プロジェクト

計 画

概要・目的		<p>菜の花プロジェクトの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜の花プロジェクトは、「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花を栽培し、その油の利用と、廃油の資源化によるバイオマス資源の地域循環を目指している。 ・平成26年度から明治大学黒川農場の協力により圃場の一部（約2a）にナタネを播種、収穫、菜種油を製造している。平成28年度も継続し、6月頃に種取り、10月に種時きを予定。 ・また、製造した菜種油を使用し、麻生区内の店舗と協働開発したクッキーを、明治大学黒川農場収穫祭で販売し、活動のPRを図る。 <p>菜の花プロジェクトの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕地の活用や里山景観の魅力向上のため ・地元農産物の活用した加工品開発 ・里地里山を活用して循環の仕組みを考えていくため
実施体制、対象者等		<p>主催：明治大学黒川農場、明治大学農学部食料環境政策学科本所研究室、地元農業者、地元店舗、かえるプロジェクト（市民団体）等</p> <p>協力：麻生区役所</p>
実施内容	実施予定日	<p>菜の花の栽培：通年</p> <p>商品の販売：平成28年11月12日（土） 収穫祭時</p>
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	収穫祭チラシ、市政だより、町内会回覧等
	内容	<p>① 地元店舗と協力し開発した商品（全粒粉クッキー）の販売による活動のPR</p> <p>② 明治大学との協働による菜の花プロジェクトのパンフレット・メッセージカードの作成</p> <p>③ 他の市民環境団体と連携した連続講座の実施 9/30、10/14、10/28、11/11、11/25（すべて10～12時（金）、麻生市民館にて。要申し込み各回30名）</p>
予算等		-
その他		

実施・評価

実施概要	実施日時	H28年度内
	実施場所	明治大学黒川農場ほか
	参加者数	—
実施状況 (写真等)	<p>6月 収穫</p> <p>9～11月 連続講座 9/30 地域資源循環プロジェクト： 菜の花プロジェクト 10/14 自然エネルギーの普及啓発活動 10/28 生ごみの有効活用 11/11 里山保全活動を通じた環境と文化の醸成 11/11 地域資源循環、せっけん利用推進。麻生区産菜種油でケーキ作り</p> <p>11月12日 収穫祭 クッキー販売</p>	   
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の収穫量は86kg、搾油量は25kg。 ・各地域の協力により、黒川農場・古沢・早野に加え、栗木・東百合丘・岡上・金程小に圃場を拡大。 ・ボランティアは現在約30名 	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に比べて収穫量が減った。今年の黒川農場では、連作の影響も考えて場所を換えて植え付けをした。 ・収穫祭やパンフレット等の周知効果もあり、ボランティアは順調に増えている。 	
その他	—	

地-8 里山アート制作と展示 【サトヤマアートサンポ 2016】

計 画

概要・目的		<p>概要 地区内の農と里山環境を活かした里山アート展示を試行的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストによる作品展示 ・里山アートをめぐるツアー <p>目的 【地場材の活用】黒川地域の竹等を活用した作品を制作する。 【地域の魅力向上】黒川地域の里山にアート作品を展示することで、黒川地域の景観や里山の魅力のPRにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		主催：和光大学 制作：和光大学表現学部の学生、卒業生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄 事務局：麻生区役所
実施内容	実施予定日	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の展示：平成28年11月12日（収穫祭）～20日 ・ツアー実施：平成28年11月12日、11月20日
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場の間
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区役所ホームページ内での告知 ・チラシの配布 等
	内容	① 和光大学表現学部の学生・卒業生の作品 ② 里山アートをめぐる散策ツアー
	予算等	製作費
その他		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の保全・管理（簡単なシフトが必要） ・設置場所の土地所有者の承諾

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) ～11 月 20 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 〈黒川駅～セレサモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場〉
	参加者数	アート鑑賞者：約 1 0 0 0 名（参考：収穫祭来場者 1761 名、パンフレット配布数等より推測）ツアー参加者 8 名
実施状況 (写真等)	<p>●アート作品展示（合計 12 点、アートパフォーマンス 1 回）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> <p>●サトヤマアートサンポ 2016 ツアー（11/12、19）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">   </div>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・農場の収穫祭までの道すがら、美術作品を見ながら歩ける企画としてとても気に入っています。 ・とても良い試みだと思います。黒川はいいところですね。 ・作品の解説版をもう少し詳しくして欲しい。 ・アートの取り組みは面白いと思うが、有名になると自動車の渋滞などが心配。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアー参加者が少ないことが課題。事前申し込みは心理的負担となるので、当日受付とすることを検討。 	
その他	-	

(3) 里地里山保全利活用専門部会

里地里山保全利活用専門部会の取り組み事項 平成 28 年度版

里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり





里-2 里山保全活動体験

里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の広町特別緑地保全地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施 ・将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定 <p>目的</p> <p>【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用 【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流 【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：黒川竹行燈の会、明治大学 対象者：地元の小中学生（小学生は保護者同伴）</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月 12 日（土）収穫祭
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の伐り出し：黒川地区内緑地 ・竹行燈づくり：農業用管理倉庫
	周知・PR	<p>地元の小学校へのチラシの配布 区内庁舎でのチラシ配布、ポスター掲示 町内会掲示板のポスター掲示</p>
	内容	<p>①竹行燈づくり（参加費無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学生と竹行燈を作る。 （制作した竹行燈は参加者が持ち帰る。） （今後に向けて：制作した竹行燈を汁守神社の参道などに設置し、地域の魅力づくりにつなげていくことを検討。） <p>②里地里山の保全活動に対する意向調査 （保護者の方向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の参加申込時に、保護者の方向けに、里地里山の保全活動への参加意向などを調査し、今後実施する保全活動体験イベントへつなげる。
	予算等	チラシ印刷費、材料費等
その他		-

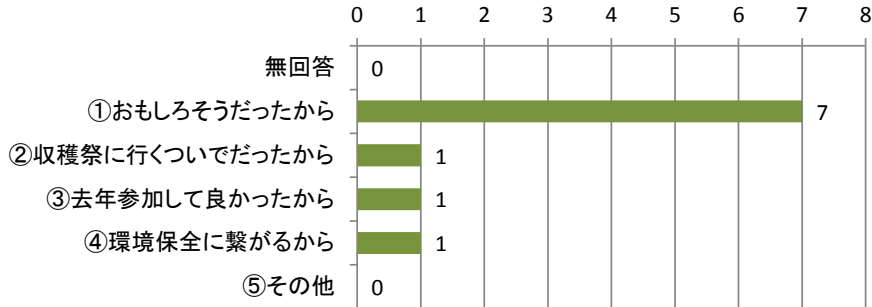
実施・評価

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) 9 : 00 ~ 11 : 45
	実施場所	・竹の伐り出し：黒川地区内緑地 ・竹行燈づくり：農業用管理倉庫
	参加者数	子ども：8 名、保護者：8 名
実施状況 (写真等)	<p>9 : 00 農業用倉庫集合</p> <p>9 : 15 竹を伐り出す</p> <p>10 : 00 農業用管理倉庫 (制作開始)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 竹を切る 2. ライトを入れる穴を開ける 3. 穴を開ける絵を描く 4. ドリルで穴を開ける <p>11 : 30 みんなで鑑賞</p> <p>11 : 45 終了</p>	   
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<p>●参加者の声 (保護者の声)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回もイベントに子供を参加させたい。 ・小学校低学年でも参加できるイベントがほしい。 ・大人向けの竹行燈づくりをやってみたい。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・好評のため、次年度も継続して実施する。 ・ただし、参加者が少なかつたため、来年度実施の際には、募集対象地域の拡大など、周知方法の工夫を行う。 	
その他		

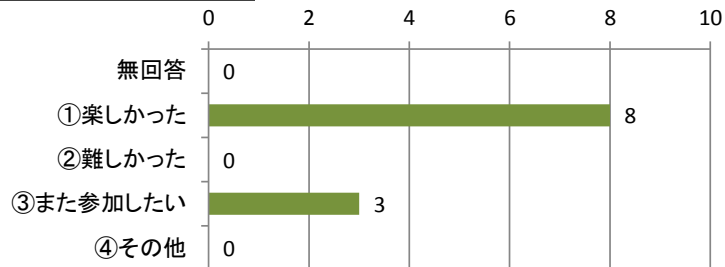
【里山保全活動体験に向けての意向調査】

調査日：平成 28 年 11 月 12 日（土） 回答者：竹行燈づくりの保護者 8 名

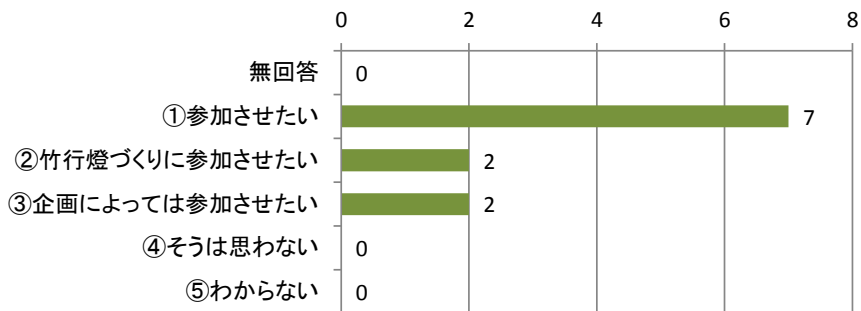
Q1 竹あんどんづくりイベントに参加したきっかけは何ですか。



Q2 本日の感想をお聞かせください。



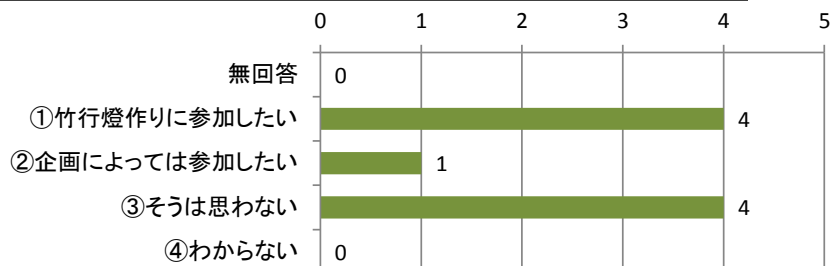
Q3 今後、黒川で子供向けイベント企画があったら、参加させたいですか。



※アイデア：自然が多いので何か自然なものを使ったイベント。

小学校低学年でも参加できるイベントがあるとよい。

Q4 大人向けの里山保全利活用の活動に参加してみたいですか。



Q5 今年度のイベント等の開催のお知らせを電子メールで配信して良いですか。

はい 7件 ・ いいえ 1件

里-2 里山保全活動体験

計 画

<p>概要・目的</p>	<p>概要 里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討</p> <p>目的 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく</p>	
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、川崎市公園緑地協会 対象者：地元住民、他</p>	
<p>実施内容</p>	<p>実施予定日</p>	<p>平成29年2月19日（日）</p>
	<p>実施場所</p>	<p>黒川よこみね緑地</p>
	<p>周知・PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（里-1）竹行燈づくりに参加した保護者への呼びかけ ・区内庁舎でのチラシ配布 ・町内会掲示板のポスター掲示 ・川崎市公園緑地協会に登録されているボランティア団体への呼びかけ ・「緑と森の美術展 in 黒川」に出展した作家への呼びかけ
	<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆主な活動内容：下草刈り（アズマネザサ等の除伐） <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草（アズマネザサ等）を刈る。 ◆活動のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。 ・散策路周辺のササを刈ることで、道幅が確保され、散策の場としての里山の利活用につながる。 ・手鎌を使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。
<p>予算等</p>	<p>チラシ印刷費等</p>	
<p>その他</p>	<p>—</p>	



参加募集チラシ・申込書

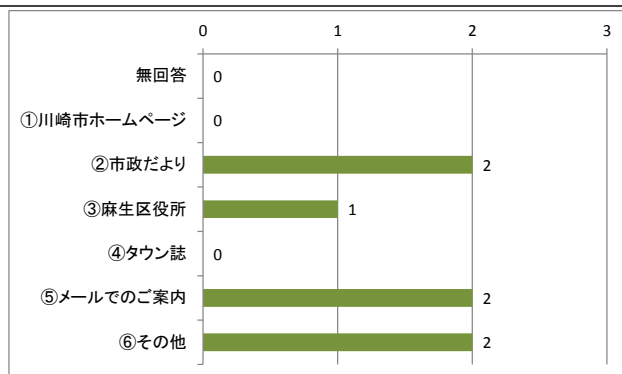
実施・評価

実施概要	実施日時	平成 29 年 2 月 19 日 (日) 9 : 00 ~ 11 : 45
	実施場所	黒川よこみね特別緑地保全地区
	参加者数	9 名 (申込 : 10 名)
実施状況 (写真等)	<p>■ 当日の流れ</p> <p>9 : 00 はるひ野駅集合 (受付)</p> <p>9 : 15 開会式</p> <p>9 : 30 黒川よこみね特別緑地保全地区 (作業開始)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道具の配布 2. 作業説明 3. ササ刈り <p>休憩 (15 分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 作業再開 5. 片づけ・道具の手入れ <p>11 : 45 閉会式・解散</p>	   
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段は出来ない体験ができて楽しかったです。 ・ 初めての体験で山がどんどんきれいになってゆくを感じた。いい運動になり、リフレッシュできた。 ・ 林がきれいに明るくなった。風景が楽しめるように感じます。 ・ 目標としていた場所までササを刈りきれなかった。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的簡単な作業であったので、女性や子どもでも手軽にできた。 ・ スタッフと参加者が交流できる機会が少なかったため、自己紹介や作業時のコミュニケーションなどが取れるとよい。 ・ 参加者が少なかったため、来年度実施の際は、市公園緑地協会に登録されたボランティア人材への積極的な働きかけなど、募集方法の工夫を行う。 	
その他		

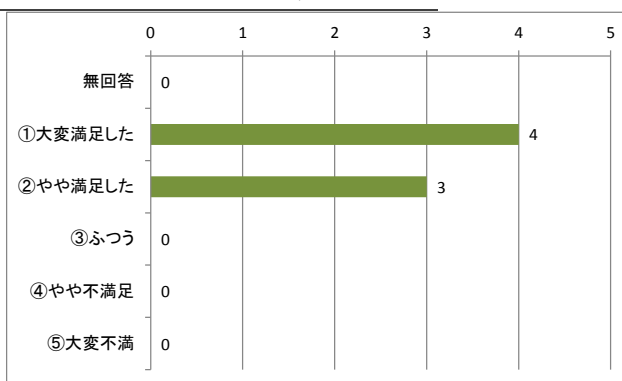
【里山保全活動体験に向けての意向調査②】

調査日：平成 29 年 2 月 19 日（日） 回答者：ササ刈り体験参加者 7 名

Q1 今回の里山保全活動体験のイベントをどこで知りましたか。



Q2 今回のイベントの満足度を教えてください。



Q3 上記の回答理由を教えてください

- ・ 普段はできない体験ができて楽しかったです。
- ・ 作業の簡便性があり、今後キンランが出るという話もありやりがいを感じる
- ・ 目標としていた場所までササを刈り切れなかった。
- ・ 初めての体験で、山がどんどんきれいになっていくのを感じられた。とてもいい運動になり、リフレッシュできた
- ・ 林がきれいに明るくなった。風景が楽しめるように感じます。

Q4 里山の利活用として、竹林整備で出た竹を活用した竹行燈づくり等を行っていますが、やってみたい活動などがありましたら教えてください。

竹ベンチ作り、シイタケづくり、体を使った体験、作品作り、里山散歩など

Q5 現在、里山保全活動等の活動をされていますか。

活動している：3名（富士通川崎里山同好会、青少年野外教育センター、創造と森の声）

Q6 あなたの性別を教えてください

男性 5件 ・ いいえ 2件

Q7 あなたの年齢を教えてください。

20代：1件 40代：2件 50代：1件 60代：3件

Q8 今年度のイベント等の開催のお知らせを電子メールで配信して良いですか。

配信しても良い 4件 ・ 配信してほしくない 1件